

【添付資料】出演者プロフィール 東京スカパラダイスオーケストラ



1989 年デビュー。日本が世界に誇る 9 人組スカバンド。国内に留まることなく世界 32 カ国での公演を果たし、世界最大級の音楽フェスにも多数出演。
2021 年 8 月には「東京 2020 オリンピック競技大会」の閉会式でライブパフォーマンスを披露、2022 年には NHK 紅白歌合戦に初出演した。
2024 年にデビュー 35 年目を迎え、11 月に 35 周年記念の初スタジアムライブ『スカパラ甲子園 at 阪神甲子園球場』を開催し 4 万人を熱狂させた。
公式サイト：<https://www.tokyoska.net/>

服部隆之（音楽監修・指揮・編曲）



1965 年生まれの作曲家。83 年にフランスに留学、88 年にパリ国立高等音楽院修了。帰国後は作曲家として映画や舞台、TV などの音楽を手掛ける。映画『蔵』『誘拐』『ラジオの時間』で、日本アカデミー賞最優秀音楽賞を受賞。テレビドラマでは「NHK 大河ドラマ新選組!」「NHK 大河ドラマ真田丸」「NHK 連続テレビ小説すずらん」「王様のレ스토랑」「HERO」「華麗なる一族」「半沢直樹」等。
映画「GODZILLA 怪獣惑星」「機動戦士ガンダム THE ORIGIN」、「ドラえもんシリーズ」のほかミュージカル「オケピ!」、NHK 教育テレビ「フックブックロー」の音楽担当。NHK 2023 年度後期 連続テレビ小説『ブギウギ』では音楽担当をつとめた。

大阪交響楽団

1980 年「大阪シンフォニカー」として創立。創設者である、永久名誉楽団代表・敷島博子が『聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を!』を提唱。いつも聴衆を“熱く”感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。
2001 年 1 月に、楽団名を「大阪シンフォニカー交響楽団」に、2010 年 4 月「大阪交響楽団」に改称した。2022 年 4 月、新指揮者体制として、山下一史（常任指揮者）、柴田真郁（ミュージックパートナー）、高橋直史（首席客演指揮者）の 3 名が就任、さらなる楽団の飛躍が期待されている。
公式サイト：<https://sym.jp>

山形交響楽団

1972 年、東北初のプロオーケストラとして誕生。東京・大阪での「さくらんぼコンサート」など年間 150 回に及ぶ公演を実施している。
2007 年から 2015 年まで「アマデウスへの旅」（モーツァルト交響曲全曲演奏会）を開催し、2017 年「モーツァルト交響曲全集」CD を発売。2008 年アカデミー賞映画「おくりびと」に出演。2020 年より「ベートーヴェン交響曲全曲演奏会」を、2022 年には「演奏会形式オペラシリーズ」をスタート。常任指揮者 阪哲朗とのオペラ演奏は高い芸術性と個性を育み、その成果は常に注目を集めている。2023 年 12 月からは、動画配信サービス「U-NEXT」での映像配信を開始。
常任指揮者 阪哲朗、首席客演指揮者 鈴木秀美、ミュージックパートナー ラデク・バボラーク、創立名誉指揮者 村川千秋、桂冠指揮者 飯森範親。 公式サイト：<https://www.yamakyō.or.jp/>

東京フィルハーモニー交響楽団

1911 年創立。日本で最も長い歴史をもち、メンバー約 160 名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督チョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフ。定期演奏会や「午後のコンサート」、オペラ・バレエ演奏、NHK 他における放送演奏の他、各地での訪問コンサートや海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を集めている。国民的番組『NHK 紅白歌合戦』『クラシック TV』のほか 2020～21 年には『情熱大陸』『BS1 スペシャル』などのドキュメンタリー番組にも登場。1989 年より Bunkamura オーチャードホールとフランチャイズ契約を締結。文京区、千葉市、軽井沢町、長岡市と事業提携を、愛知県刈谷市と連携協定を結び、各地域との教育的・創造的な文化交流を行っている。

公式サイト：<https://www.tpo.or.jp/>